

ライトスタンド 取扱説明書

『JLS-HF404、JLS-HF402』

この度は、ライトスタンドをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
尚、この取扱説明書は、いつでも見ることのできる場所に大切に保管してください。

①取扱上のご注意

警告



・製品の分解・改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。



・製品の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。



・電源コードを、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが損傷し、火災・感電の原因となります。



・万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い求めの販売店もしくは弊社に連絡してください。

注意



・この製品は防水構造ではありませんので、水のかかる場所や水中で使用することは絶対にしないでください。感電や漏電の恐れがあり、大変危険です。



・製品は絶対に放り投げたり、落としたりしないでください。落下等のショックにより製品の外郭や基板が故障したり、蛍光管が破損したりすることがあります。



・この製品は屋内用です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。



・この製品は通常の作業環境に対応できるように設計されています。使用できる温度範囲は0℃～40℃です。冷凍室や高温作業場や極端に温度の高い場所等では使用できません。



・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。故障や火災の原因となることがあります。



・使用地域の周波数以外のものを使用しないでください。間違って使用すると、故障や火災の原因となることがあります。



・弊社指定のオプション以外を使用しないでください。製品の破損や故障の原因となり大変危険です。



・スイッチのON、OFFを繰り返すと蛍光管の寿命は短くなります。不必要な点滅は避けください。また、蛍光管の端が黒くなった場合、すぐに交換してください。



・布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。



・点灯中及び消灯直後の蛍光管及びその周辺をさわらないでください。蛍光管及びその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。



・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意



・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。



・お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。



・製品のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物で拭いたりしないでください。変色や破損の原因となります。汚れがひどい場合には、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。



・蛍光管の交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、適合する蛍光管を使用してください。適合しない蛍光管を使用すると、火災の原因となります。



・蛍光管の交換等によりカバーなどを外し、再度取付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取付けてください。不完全に取付けると、落下してけが・物損の原因となります。



・蛍光管の交換やお手入れの際には、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま行いますと、感電の原因となる場合があります。



・消灯直後に蛍光管及び蛍光管周辺を触ると、やけどの原因となる場合がありますので、蛍光管の交換やお手入れは電源を切って、しばらくしてから行ってください。



・本製品の組立は平坦な場所で行ってください。平坦でない場所で行うと転倒する恐れがあり大変危険です。



・組立の際、ネジやボルトは確実にしめて固定してください。ネジやボルトがゆるんでいると、部品が外れる恐れがあり大変危険です。



・本製品は必ず平坦な場所で使用してください。平坦でない場所で使用すると転倒する恐れがあり大変危険です。



・本製品を高い場所や不安定な場所で使用しないでください。落下や転倒する恐れがあり大変危険です。



・衝撃や振動の加わるような場所では使用しないでください。転倒する恐れがあり大変危険です。



・直射日光の当る場所や温度が異常に高くなる場所に長時間放置しないでください。部品が変形する恐れがあります。



・本製品に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。製品が破損したり転倒する恐れがあり大変危険です。



・万一、部品が破損した場合は、そのまま使用しないでください。そのまま使用しますと転倒する恐れがあり大変危険です。

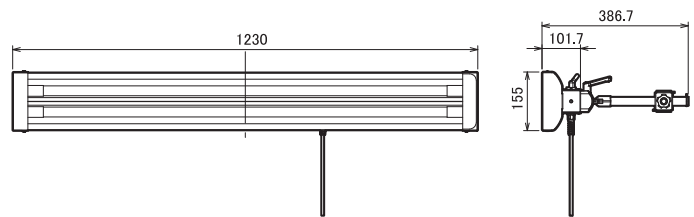
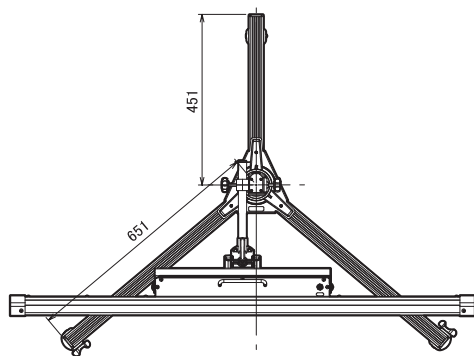


・明るく安全に使用していただくために・定期的に清掃・点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで買い求めの販売店もしくは弊社に連絡してください。

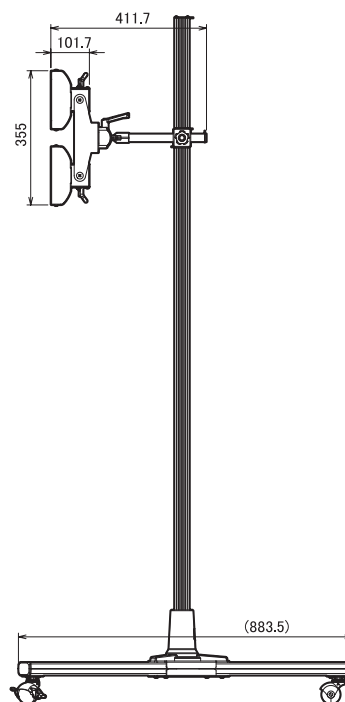
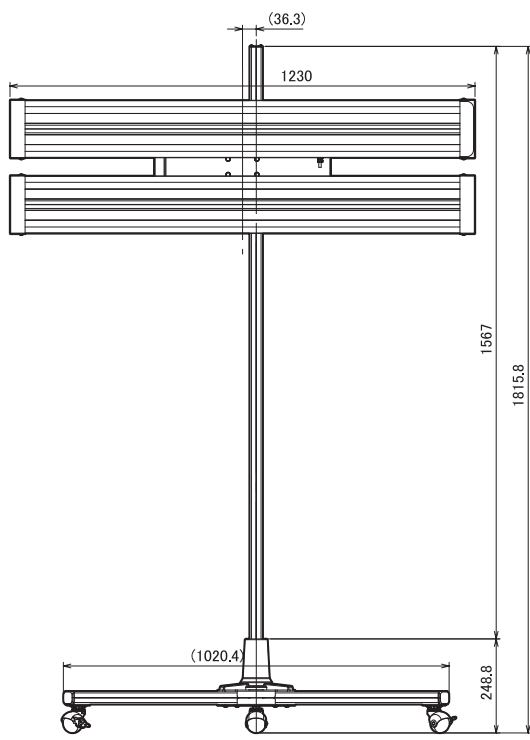
②仕様

型 式	JLS-HF404	JLS-HF402
定 格 電 圧	AC100V	
定 格 周 波 数	50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	180W	90W
ラ ン プ 電 力	45W×4 灯	45W×2 灯
適 用 ラ ン プ	FHF32N-EDL×4 灯	FHF32N-EDL×2 灯
点 灯 方 式	インバータ	
使 用 場 所	屋内	
使 用 温 度	0～40℃	
寸 法	W1230mm×D411.7mm×H355mm (ライト部) W1020.4mm×D883.5mm×H1815.8mm (スタンド部)	W1230mm×D386.7mm×H155mm (ライト部) W1020.4mm×D883.5mm×H1815.8mm (スタンド部)
重 量	7.7kg(ライト部)、6.5kg(スタンド部)	3.9kg(ライト部)、6.5kg(スタンド部)
コ ー ド 長	5.0m	

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

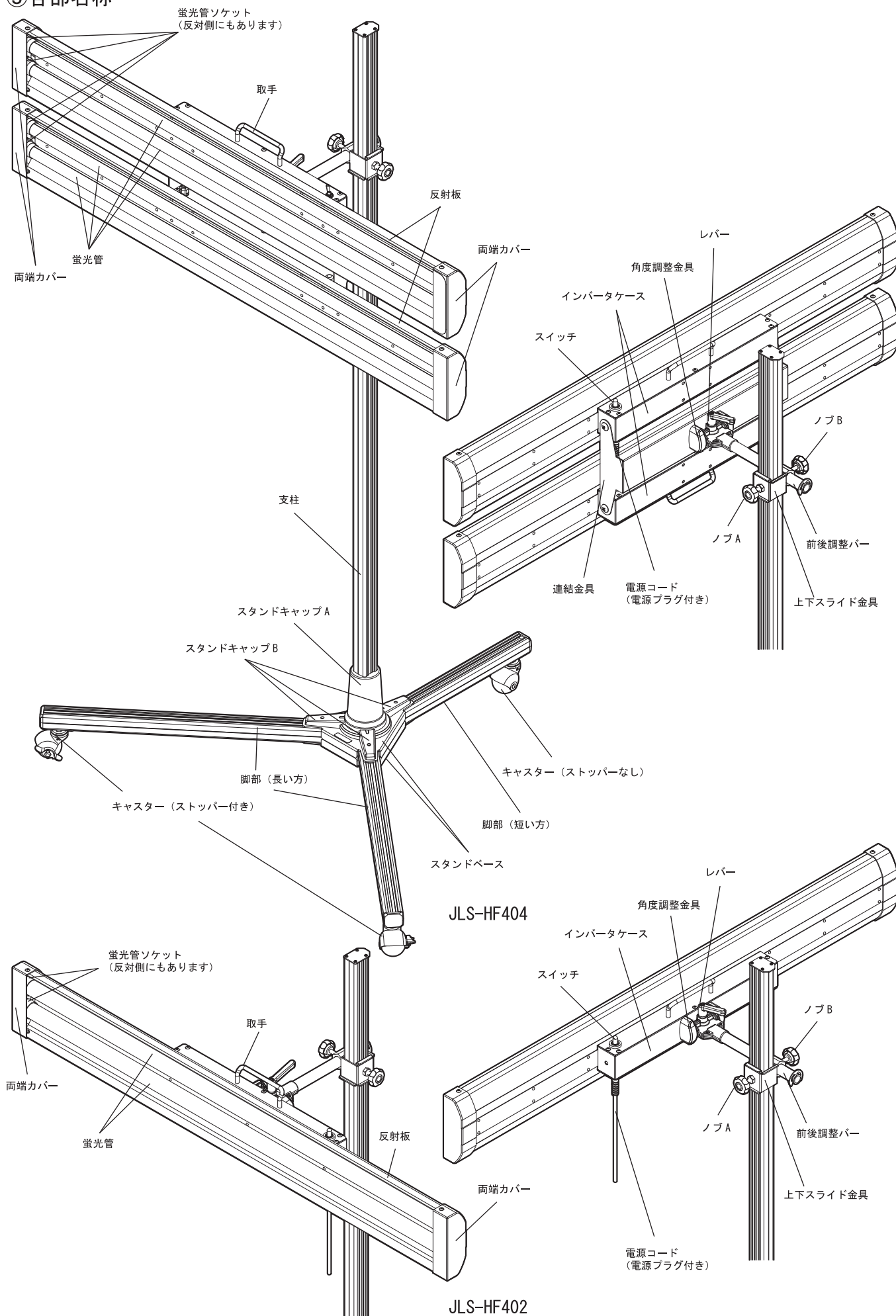


JLS-HF402 照明部



JLS-HF404

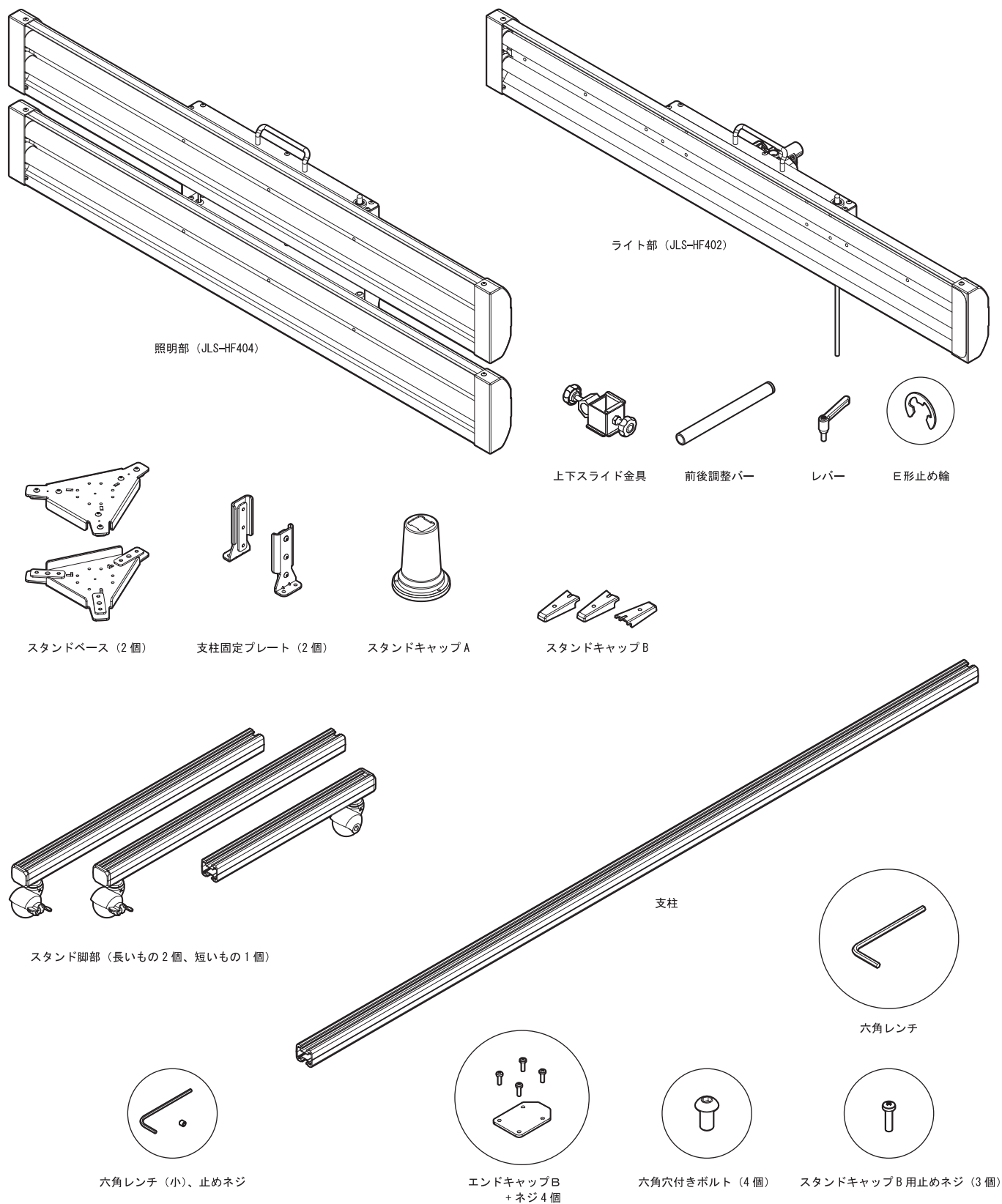
③各部名称



④梱包内容

本製品は分解して梱包してあります。全てそろっているか、確認してください。

不足しているものがあるようでしたら、お買求めになった販売店または弊社までご連絡ください。

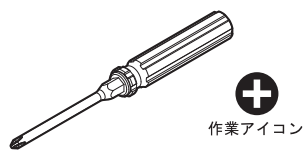


部品一覧

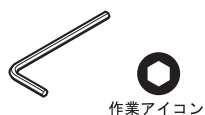
⑤組み立て手順

組み立てに必要なもの

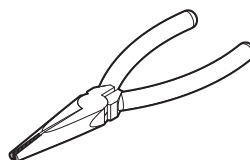
組み立てに必要な人数



プラスドライバー (2 番のもの)



六角レンチ (付属品)



ラジオペンチ

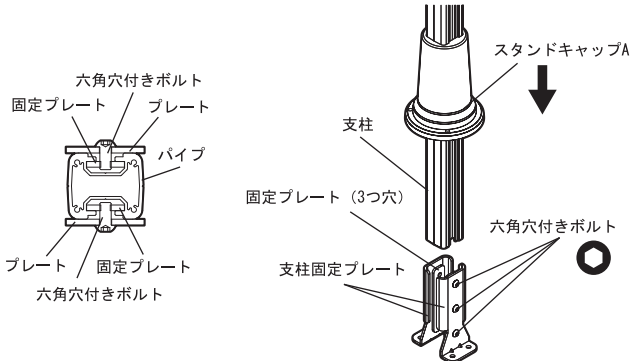
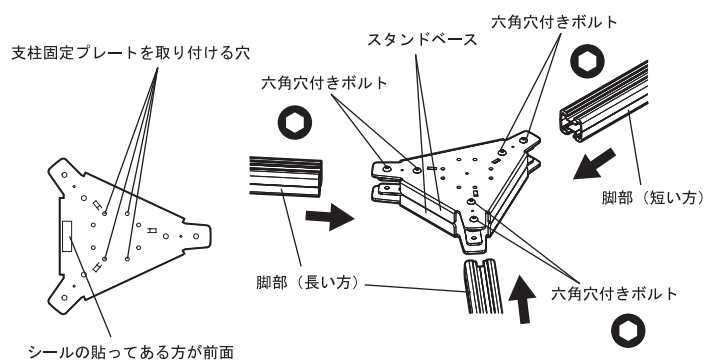


2 人

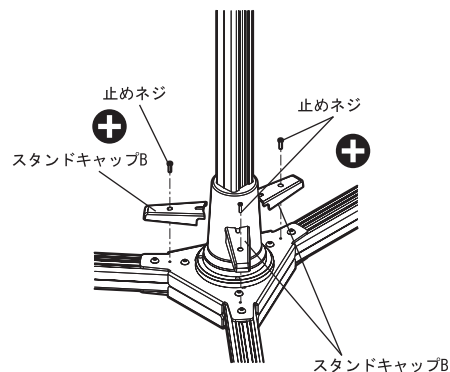
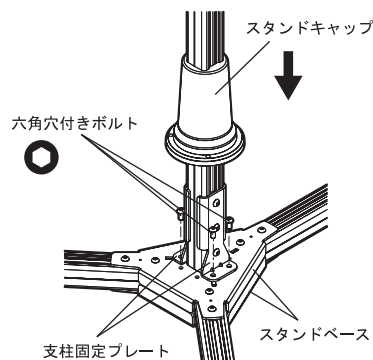
図にある作業アイコンのある工具を使用してください

スタンドの組み立て方

1. スタンドベースのプレートが脚部のパイプにスライドするように差し込んでください。止まるまで差し込んだら六角穴付きボルトをしめ、しっかりと固定してください。(この際スタンドベースの前面に脚部の長いほうがかかるようにしてください。)
2. 支柱にスタンドキャップ A を差し込み、支柱固定プレートの固定プレート (3 つ穴) を支柱にスライドさせるように差し込んでください。また、六角穴付きボルトを軽くしめて固定しておいてください。

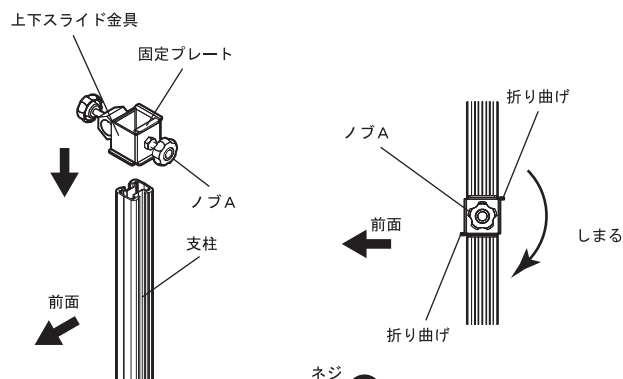


3. 六角穴付きボルトで、支柱固定プレートをスタンドベースに固定してください。固定できたら支柱固定プレートの六角穴付きボルトを、今度はしっかりと固定してください。
4. スタンドキャップ B をスタンドキャップ A を固定するようにして、止めネジを使いスタンドベースに固定してください。

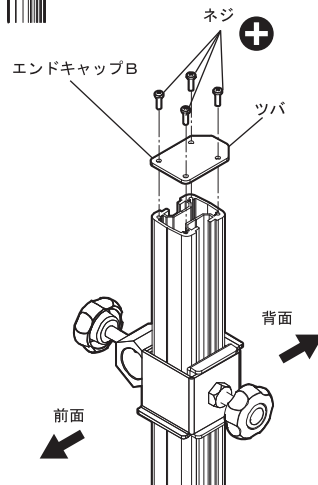


ライトの取付け方

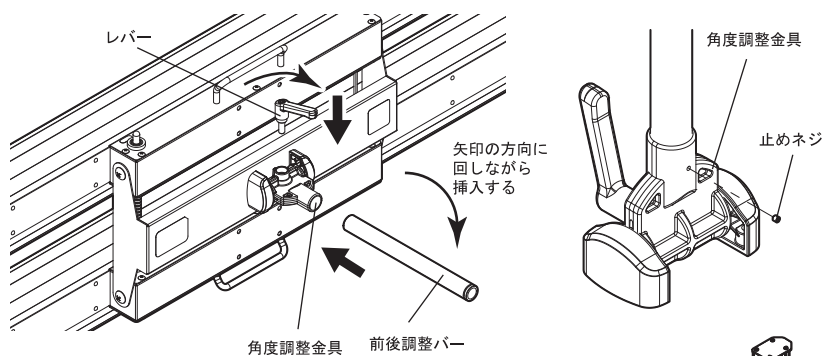
1. 上下スライド金具を支柱に入れてください。その際、固定プレートがノブA側にくるようにしてください。また、スライド金具の折り曲げの方向を、図のようにしてください。
2. 使用したい高さきたらノブAをしめ、固定プレートを支柱に押し付けるようにして固定してください。



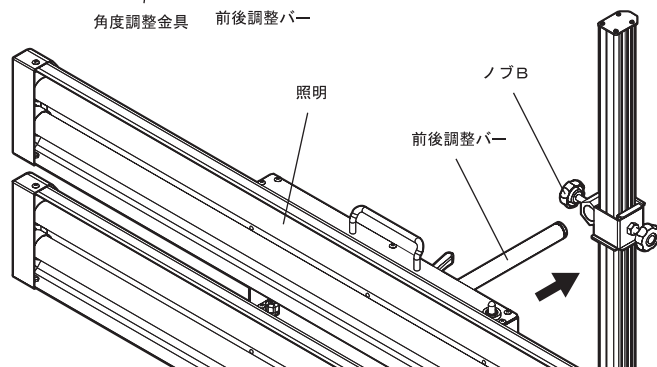
3. 支柱の先端に、エンドキャップBをネジで固定してください。
(エンドキャップBのツバが、背面にくるようにしてください)



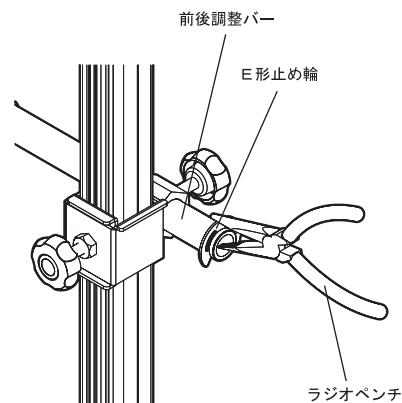
4. 前後調整バーとレバーを、角度調整金具にねじ込みながら取りつけてください。
取付後、止めネジをで前後調整バーをしっかりと固定してください。その際、止めネジは付属の六角レンチ（小）を使用して挿入してください。



5. 照明部の前後調整バーを、上下スライド金具に差し込んでください。
6. 使用したい位置まで差し込んだら、ノブBを前後調整バーに押し付けるようにして、固定してください。



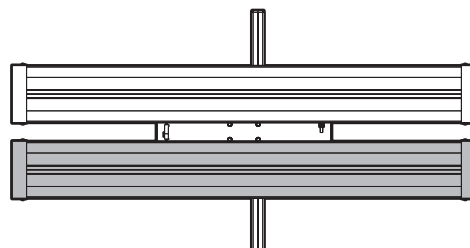
7. 前後調整バーの端にある溝に、ラジオペンチなどを使用してE形止め輪を取付けてください。



⑥使用方法

点灯方法

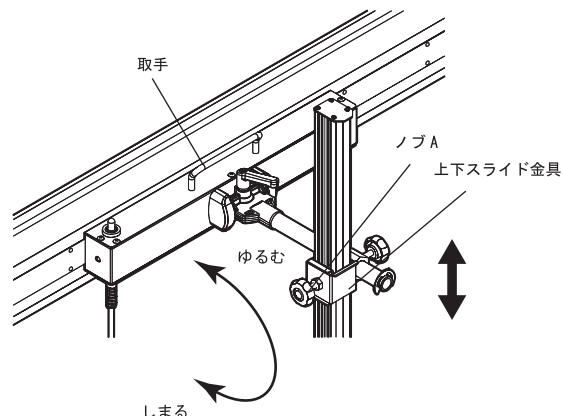
1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. スイッチを ON 側にたおしてください、蛍光管が点灯します。
JLS-HF404 は片側（電源コードのないほう）のスイッチを切る
ことにより、片側だけの点灯も可能です。
3. スイッチを反対側にたおしてください、消灯します。



片側だけの点灯も可能です

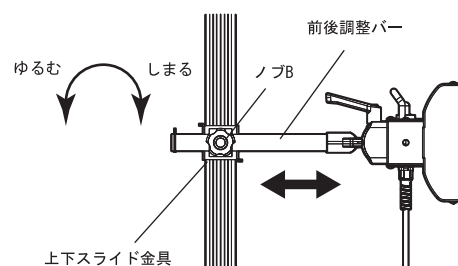
照明部を上下にスライドさせる方法

1. ノブ A を反時計回しに回してください、ノブ A がゆるみます。ノブ A をゆるめる際は、安全のため本体または取手をもったまま行なってください。
2. 上下スライド金具を支柱の任意の位置で止め、ノブを時計回りに回し、固定プレートを支柱に押し付けるようにしてしっかりと固定してください。



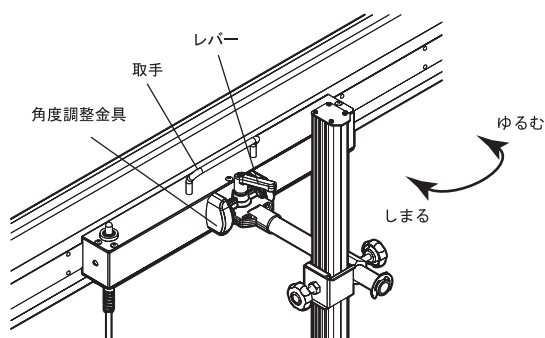
照明部を前後にスライドさせる方法

1. ノブ B を反時計回しに回してください、ノブ B がゆるみます。ノブ B をゆるめる際は、安全のため本体または取手をもったまま行なってください。
2. 前後調整バーの任意の位置で止め、ノブ B を時計回りに回し、しっかりと固定してください。

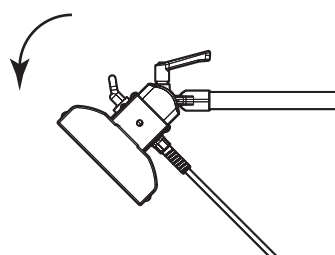
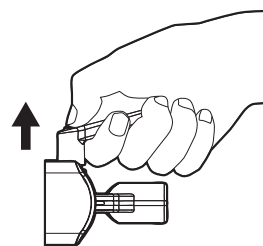


照明部の角度を変更する方法

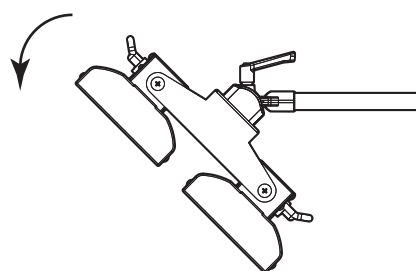
1. レバーを反時計回りに回してください、角度調整金具がゆるみます。レバーをゆるめる際は、安全のため本体または取手をもったまま行なってください。
 2. 照明部を任意の角度で止め、レバーを時計方向に回し、しっかりと固定してください。
 3. JLS-HF404 は各照明部を、それぞれ外向きに 45 度まで傾けることも可能です。
- ※変更できる範囲は下方向に 45 度です。



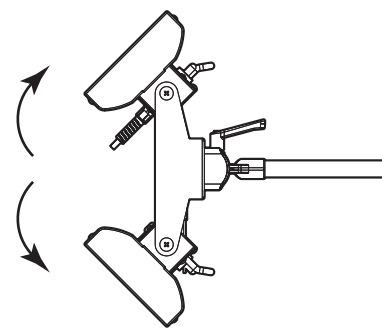
※レバーは中心の部分を押えながら少し上にずらすことで、ネジを締めこまずに左右に位置を変えることができます。



JLS-HF402を45度傾けた状態



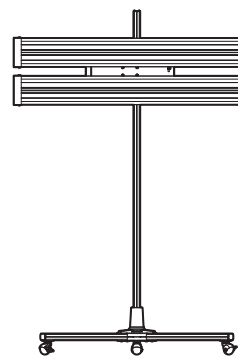
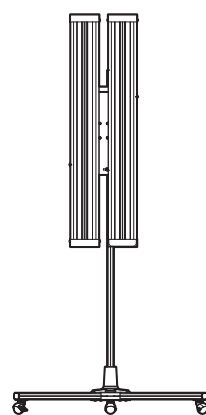
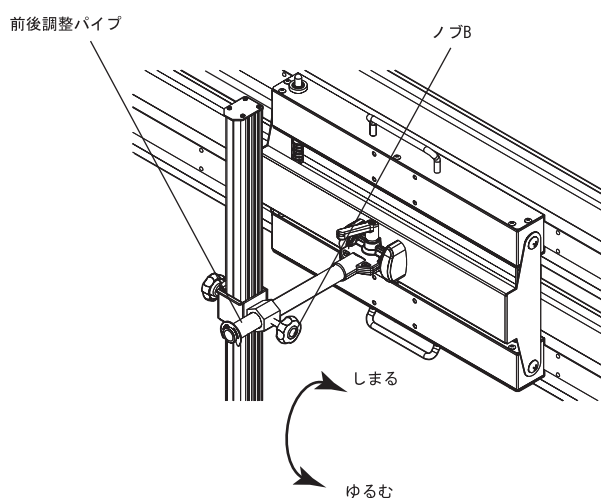
JLS-HF404を45度傾けた状態



JLS-HF404の各照明部を45度傾けた状態

照明部を回転させる方法

1. ノブBを反時計回りに回してください、ノブBがゆるみます。ノブBをゆるめる際は、安全のため本体または取手をもったまま行ってください。
2. 前後調整パイプを軸として任意の角度まで回転させ、ノブBを時計方向に回し、しっかりと固定してください。

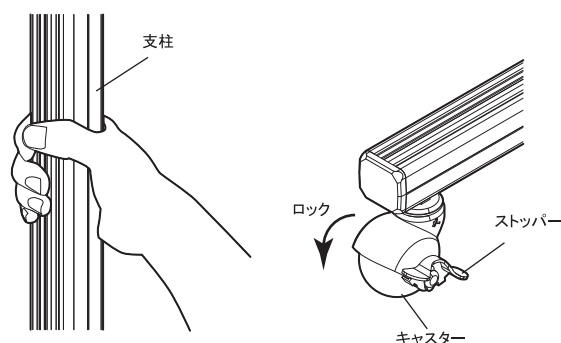


縦位置

横位置

スタンドを移動させる方法

支柱をしっかりもって、水平に押すようにして移動してください。
設置の際は、キャスターのストッパーで固定してください。



⑦ 蛍光管の交換方法

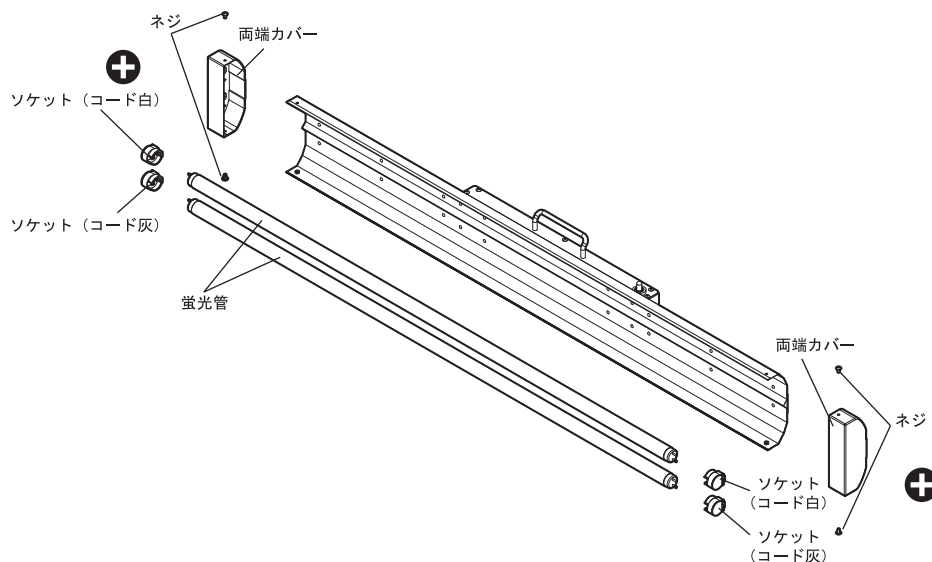
⚠ 注意

※ 蛍光管の交換をする時は、必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。コンセントに差し込んだままの状態では交換作業をすることは絶対にしないでください。

※ 消灯後しばらくは、蛍光管は高温ですので、十分に注意してください。

※ 蛍光管の交換は次の手順で行ってください。

1. ネジを2本はずし、両端カバーをそれぞれはずしてください。
2. 蛍光管についているソケットをはずしてください。
3. 新しい蛍光管をソケットに取付けてください。
※ ソケットのコードの色が同じものを、同じ蛍光管に取付けてください。
4. 両端カバーをはめて、ネジを2本しめください。

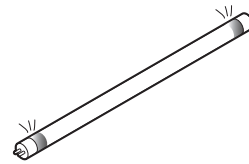


⑧製品を安全に永く使用していただくために



お手入れは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

- ・定期的に（１週間に１回程度）点検を行ってください。
 - ・本体やコードに損傷はないか。
 - ・ネジやボルト・部品にゆるみはないか。
 - ・蛍光管の点灯状況は良いか。



端が黒くなったらすぐに交換を



蛍光管は点灯しなくなったときに交換時期ではありません。端が黒くなったり、点滅するようになったらすぐに交換してください。そのまま使用しますと、器具が故障する恐れがあり大変危険です。

- ・製品のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物で拭いたりしないでください。変色や破損の原因となります。汚れがひどい場合には、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。

⑨故障・修理依頼・サービス

この製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは当社までご相談ください。

販売店

嵯峨電機工業株式会社

本社営業所

〒145-0076 東京都大田区田園調布南 10-5
TEL 03-03-3759-8261 FAX 03-3756-2131

名古屋営業所

〒463-0070 名古屋市守山区大永寺町 41
TEL 052-796-1511 FAX 052-796-2151

大阪営業所

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 3-4-4
TEL 06-6561-4571 FAX 06-6562-4694

ホームページ <http://www.sagaden.co.jp/>